

あ

い

の

【富士山】

Vol.25

平成28年1月発行

新年の挨拶

明けましておめでとうございます。

もし医療にも流行語大賞があれば、『地域連携』、『多職種協働』、『在宅療養』といった言葉がノミネートされる昨今の医療状況です。当院も『在宅療養後方支援病院』として地域医療の一端を担うべく、より一層の精進を心がける所存です。本年もご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

院長 杉野正一

Contents

- ・あいの訪問看護ステーション
- ・オープン糖尿病教室・市民公開講座開催
- ・就任医師紹介
- ・クリスマスコンサート

あいの訪問看護ステーション

平成25年5月、地域で暮らす人の在宅医療を支えるため、あいの訪問看護ステーションが開設されました。

開設当初は主に精神疾患を中心とする精神科訪問看護のスタートでしたが、より地域のニーズにこたえるため、平成27年8月、精神疾患はもちろんのこと、必要な看護が提供でき、あらゆる疾患に対応できるよう体制を整えて新たにスタート致しました。

また、認知症看護認定看護師が常駐していることにより、認知症の御家族を持つ方の御相談や、地域の医療、福祉関係からの問い合わせや依頼もお受けできるようになりました。

訪問看護はその人が生活する場に訪問させていただくので、訪問することで見えてくる情報も多くあります。ご本人の気持ち、症状をきちんと聞きながら全身状態を見させていただき、その人の生活を大切に考えながら常にケアを行っています。

また、その人を支えるご家族や大切な方々の心のケアにも力を入れています。

「笑顔のある暮らしを地域で支えます」というステーションの理念のもとに、疾病や障害があっても共に毎日笑顔で暮らせるために、そのサポートをさせていただくことが私たちの大切な役割だと考えています。

地域やさまざまな職種のみなさまと連携し、顔の見える関係づくりを行い、これからも地域で暮らす人々の生活を支え、地域に貢献できるようなステーションに成長できるよう日々頑張っていきたいと考えておりますので何卒よろしくお願ひ致します。



■ お問い合わせ 072-626-8102 あいの訪問看護ステーション

オープン糖尿病教室を開催

世界糖尿病デー（11月14日）は、現在、世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数の疾患啓発の日となっており、この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。当院においても、11月2日～14日の期間、世界各国のライトアップ写真の展示、ポケットティッシュやチラシの配布を行い世界糖尿病デーの啓発週間としました。

また、通常の糖尿病教室の内容を変更し、11月2日に「糖尿病と生きる」と題して、1階フロアを利用し医師やコメディカルスタッフによる講演や看護師による生活相談、管理栄養士による食事相談等のイベントを行いました。



市民公開講座を開催しました

平成27年10月17日に茨木市立生涯学習センターきらめきホールにおいて、茨木市と共催で市民公開講座を開催しました。

今年は、「寝たきりストップ!」と題し“骨そしょう症”“脳卒中”“認知症”それぞれの予防についての講演を行いました。また、リハビリ職員による“はつらつダンス”や市職員による“はつらつパスポート”の活用方法のお話しをしていただきました。当日は、439名と多くの方に参加いただき、大盛況のうちに終了しました。

皆様ご来場ありがとうございました。



就任医師紹介 しば ひでゆき 斯波 秀行 (内科)

はじめまして。リウマチ膠原病内科の斯波と申します。平成19年に大阪医科大学を卒業し臨床研修終了後に膠原病の道に入りました。その後大阪医科大学での勤務を経て本年9月より当院に入職致しました。



関節リウマチを始めとした膠原病疾患は治療が長期間にわたることが多いため、当院で患者様と寄り添える医療を目指していきたいと考えております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



就任医師紹介 はたなか かおる 畑中 薫 (精神科)

精神科の畑中と申します。昭和44年に大阪大学を卒業後、長期に渡り病理学分野の研究を続けていました。平成19年から精神科病院の一つ有馬高原病院で精神科医師への研修を受け、平成23年に精神保健指定医の資格を得ました。本年11月より当病院に入職しました。心の病気は生活力を低下させます。それに対し、役割の異なった多職種による継続的な見守り・自立支援が必要だと思っています。その輪の中で微力な私もお役に立てれば幸いです。



就任医師紹介 ながた こうじ 永田 浩志 (内科)

昨年12月から内科常勤医として当院に勤務しております。平成6年大阪医大を卒業後、糖尿病を中心とした内科診療に携わってまいりました。

近年糖尿病の分野では様々な薬剤が用いられるようになり、投薬の方法が豊かになりました。受診される皆様には、これまで以上に最適な治療法をご提案できるかと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。





12月19日（土）に毎年恒例となりました、クリスマスコンサートを開催しました。職員有志や大冠高校OBの方の演奏に患者様も楽しんでいただけました。

【お知らせ】西側駐車場の拡張整備を行い、合計78台分の駐車スペースを確保しました。

平成28年1月～2月 講座・セミナーのご案内

平成28年1月23日（土） 茨木市医師会勤務医総会ならびに医療連携懇話会 15：00～

場所 ホテルグランピア大阪 20F

講演 西山浩司（藍野病院 婦人科医長） 『在宅療養後方支援病院としての中心静脈ポートの取り組み』

特別講演 杉野正一（藍野病院 院長 神経内科） 『パーキンソン病：最近の話題～パーキンソン病はプリオン病？～』

対象 茨木市医療関係者

平成28年1月23日（土） 第8回認知症ケアスタッフのための認知症講座 13：00～16：30

場所 藍野大学中央図書館

講演 名越 充（名越歯科クリニック院長） 『地域で生活する認知症の方を口腔領域からサポートする』

辻 文生（市立吹田市民病院 呼吸器・アレルギー内科部長） 『認知症の終末期医療を考える』

対象 医療・福祉関係者

平成28年1月30日（土） 成年後見センター・リーガルサポート大阪支部 研修会 10：30～12：00

場所 大阪司法書士会館 3階ホール

講演 杉野正一（藍野病院 院長 神経内科） 『認知症の理解』

対象 大阪府司法書士関係者

平成28年1月30日（土） 第6回認知症イメージング研究会～かかりつけ医のための認知症診療～ 16：30～18：30

場所 ホテルグランピア大阪 20F 孔雀の間

閉会の辞 杉野正一

講演 平野成樹 『神経変性疾患のコリン神経画像』

荒木俊彦 『SPECTを用いたDLBの診断と川口市における認知症連携について』

対象 医療関係者

平成28年2月16日（火） 人権問題研修 13：00～15：30

場所 茨木市役所 南館8F 中会議室

講演 浅山倫子（藍野病院地域医療連携センター 精神保健福祉士、認知症地域支援推進員）

『認知症高齢者の人権について』

対象 茨木市職員

平成28年2月17日（水） 第337回生活習慣病研修会 14：00～15：30

場所 ジェックス研修センター（大阪市淀川区西中島）

講演 山本直宗（藍野病院 内科医局長） 『糖尿病と認知症』

対象 一般市民、医療関係者

平成28年2月27日（土） 第3回病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 14：00～16：30

場所 マイドームおおさか

取組報告及びパネルディスカッション

『認知症の人に適切でスムーズな医療・ケアを提供するために～各職種からの実践報告を交えて～』

浅山倫子（藍野病院地域連携センター 精神保健福祉士、認知症地域支援推進員）

対象 大阪府医療従事者

入院のご相談は「地域医療連携センター」まで TEL:072-627-7611（代） FAX:072-627-3627

平日（月～金曜日）の20時までは緊急患者様に対応できる体制を整えています。